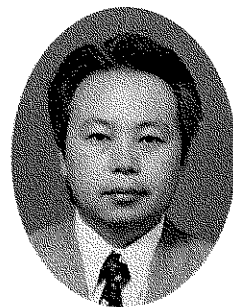


## 窯業建材課長就任に当たって



通産省住宅産業窯業建材課長

野口 泰彦

本年6月に住宅産業窯業建材課長に就任した野口泰彦でございます。よろしくお願い申し上げます。

さて、本年4月に「国家産業技術戦略」のとりまとめが行われました。この中で、ガラス産業分野については、社団法人ニューガラスフォーラムが中心となり、産学官の連携の下で検討され、「ガラス産業技術戦略」がとりまとめられております。様々な優れた機能を有するガラスは21世紀の先端産業を支える素材であり、今後、技術開発を戦略的に進めていく必要がある重要な分野であると認識しています。

こうした中、ニューガラスフォーラムは産学官が結集して組織された機関であり、ガラス研究者のシーズとそのユーザーであるシステム側のニーズが同じフォーラムの中で出会うことにより効率の良い研究開発体制や目標を生み出すことができるものと期待しております。

通産省といたしましても、現在、昨年度に引き続き国際標準化事業としての「ニューガラス高温物性の評価方法の標準化」や知的基盤整備事業としての「ニューガラスの設計に資するデータベース構築」等を同フォーラムに委託しているところであり、また来年度から本格的な産学官連携の研究開発プロジェクトである「ナノガラス材料技術」を実施できるよう予算要求中であります。これらの事業を通じて、本フォーラムが世界に誇るガラスデータベース INTERGLAD の更なる充実を図り、それが世界のガラス産業のインフラ整備に貢献することを願います。また、産業界として初めての試みとなる革新的ガラス技術開発のナショナルプロジェクト（ナノガラス材料技術）から目覚ましい成果が得られることを心から願っている次第です。

微力ではありますが、今後とも、産学官連携による成果を最大限に発揮しうるような限りの支援を行っていきたいと考えております。最後に、本フォーラムが来る21世紀において益々発展されますよう心より祈念するものであります。